

# 平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年1月28日

上場会社名 株式会社 ディーエムエス  
 コード番号 9782 URL <http://www.dmsjp.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 克彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 橋本 竜毅

TEL 03-3293-2961

四半期報告書提出予定日 平成31年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	20,537	12.9	1,032	26.2	1,051	27.4	717	24.3
30年3月期第3四半期	18,198	8.6	818	3.5	825	5.0	577	7.9

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 654百万円 (5.3%) 30年3月期第3四半期 621百万円 (5.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	123.29	
30年3月期第3四半期	99.19	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第3四半期	15,922	11,239	70.6	1,930.23
30年3月期	15,611	10,702	68.6	1,837.87

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 11,239百万円 30年3月期 10,702百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		20.00	20.00
31年3月期		0.00			
31年3月期(予想)				21.00	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正につきましては、本日(平成31年1月28日)公表しました「平成31年3月期配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

## 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,662	6.9	1,222	11.3	1,242	12.2	852	11.1	146.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	7,262,020 株	30年3月期	7,262,020 株
期末自己株式数	31年3月期3Q	1,438,974 株	30年3月期	1,438,934 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	5,823,075 株	30年3月期3Q	5,823,118 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の不透明感が懸念されたものの、政府および日本銀行の継続的な経済対策や金融政策を背景として、雇用・所得環境は改善傾向が続き、緩やかな回復基調で推移しました。

このようななか当社は、ダイレクトメール、セールスプロモーション、イベントといった顧客企業にとっての手段を提供するだけでなく、それらを使って「顧客企業と生活者のよい関係づくりをトータルサポート」するべく、提案型営業と生産性の高い業務推進を行っております。

また、2018年2月に発表した2023年3月期までの「中期経営計画」に基づき、重点施策として、「デジタル時代のDM強化」「先端設備充実による生産性向上」「西日本エリアの事業再構築」「3つの分野で物流を伸ばす」「2020オリンピック需要の取込み」に取り組んでおります。

この結果、当社グループの当四半期連結累計期間の売上高は、ダイレクトメール部門の受注が想定以上に堅調に推移したことにより205億37百万円（前年同期比12.9%増）となりました。営業利益は、増収効果や業務効率化の取組みによる労務費の抑制が奏功し、10億32百万円（同26.2%増）となりました。経常利益は、営業外収益が23百万円（同4.0%減）、営業外費用が4百万円（同74.1%減）となった結果、10億51百万円（同27.4%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、税金費用を3億33百万円計上したことにより7億17百万円（同24.3%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①ダイレクトメール部門

既存顧客の取引窓口の拡大や物流サービスの新規受注を促進した結果、ダイレクトメール、インターネット通販出荷代行や販促キャンペーン商品送付などの取扱いが伸びたことにより売上高は193億3百万円（同13.9%増）、セグメント利益は13億85百万円（同27.7%増）となりました。

#### ②セールスプロモーション部門

キャンペーンの事務局業務が伸び悩んだことにより、売上高は6億36百万円（同21.6%減）、セグメント利益は99百万円（同26.0%減）となりました。

#### ③イベント部門

スポットの大型見本市や障がい者スポーツ振興イベントなどの受注が好調となった結果、売上高は5億34百万円（同43.8%増）となり、セグメント利益は13百万円（前年同期セグメント損失11百万円）となりました。

#### ④賃貸部門

千代田小川町クロスタビル（東京都千代田区）等の売上高は60百万円（同3.0%増）となりました。一方、セグメント利益は一部の物件の固定資産税が増加したことにより29百万円（同5.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産の状況

当四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて主に仕掛品が1億58百万円減少しましたが、現金及び預金が1億38百万円、売上債権が3億77百万円それぞれ増加したことにより、全体として70億78百万円（前連結会計年度末比3億91百万円増）となりました。

当四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて主に有形固定資産、無形固定資産および投資不動産が94百万円増加しましたが、投資有価証券が89百万円、差入保証金・敷金が1億7百万円それぞれ減少したことにより、全体として88億44百万円（同79百万円減）となりました。

その結果、資産合計では、159億22百万円（3億11百万円増）となりました。

②負債の状況

当四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて主に仕入債務が3億42百万円増加しましたが、未払金が1億41百万円、前受金が5億67百万円、賞与引当金が1億8百万円それぞれ減少したことにより、全体として35億98百万円（同4億48百万円減）となりました。

当四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて主に長期借入金が1億円減少しましたが、長期リース債務が1億75百万円、その他の固定負債が1億41百万円それぞれ増加したことにより、全体として10億84百万円（同2億22百万円増）となりました。

その結果、負債合計では、46億82百万円（同2億26百万円減）となりました。

③純資産の状況

当四半期連結会計期間末の純資産は、主に利益剰余金では親会社株主に帰属する四半期純利益7億17百万円の計上と配当1億16百万円を支払ったことにより、差し引きで前連結会計年度末に比べて6億1百万円の増加となりました。そのほか、株式市場等の下落を受けて、その他有価証券評価差額金が63百万円（税効果分は除く）減少したことにより、全体として112億39百万円（同5億37百万円増）となりました。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年7月25日発表の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,586,323	1,724,482
受取手形及び売掛金	3,794,620	4,172,448
仕掛品	1,056,935	898,502
立替郵送料	148,078	117,376
その他	104,959	170,015
貸倒引当金	△4,013	△4,367
流動資産合計	6,686,904	7,078,457
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,245,676	2,133,728
機械装置及び運搬具（純額）	419,945	387,638
土地	3,785,089	2,491,340
リース資産（純額）	22,788	205,195
その他（純額）	186,987	155,663
有形固定資産合計	6,660,486	5,373,566
無形固定資産	228,025	217,097
投資その他の資産		
投資有価証券	610,268	520,509
投資不動産（純額）	847,593	2,240,138
その他	577,776	492,950
投資その他の資産合計	2,035,638	3,253,598
固定資産合計	8,924,150	8,844,262
資産合計	15,611,054	15,922,719

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,002,825	2,345,303
短期借入金	137,750	134,000
リース債務	20,864	39,140
未払法人税等	223,671	156,864
賞与引当金	222,565	114,101
その他	1,439,883	809,247
流動負債合計	4,047,560	3,598,656
固定負債		
長期借入金	502,500	402,000
リース債務	8,381	183,567
繰延税金負債	15,196	12,535
退職給付に係る負債	198,708	203,769
役員退職慰労引当金	60,970	65,542
再評価に係る繰延税金負債	18,327	18,327
その他	57,326	198,509
固定負債合計	861,410	1,084,252
負債合計	4,908,971	4,682,909
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,092,601	1,092,601
資本剰余金	1,468,215	1,468,215
利益剰余金	9,333,725	9,935,177
自己株式	△582,888	△582,954
株主資本合計	11,311,652	11,913,039
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	225,379	162,293
土地再評価差額金	△814,388	△814,388
退職給付に係る調整累計額	△20,560	△21,133
その他の包括利益累計額合計	△609,568	△673,228
純資産合計	10,702,083	11,239,810
負債純資産合計	15,611,054	15,922,719

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	18,198,435	20,537,515
売上原価	16,461,083	18,505,497
売上総利益	1,737,351	2,032,018
販売費及び一般管理費	919,064	999,570
営業利益	818,287	1,032,447
営業外収益		
受取利息	88	61
受取配当金	11,793	12,393
物品売却益	4,654	6,313
雑収入	7,787	4,580
営業外収益合計	24,323	23,349
営業外費用		
支払利息	16,423	4,386
その他	974	124
営業外費用合計	17,397	4,510
経常利益	825,213	1,051,286
特別利益		
投資有価証券売却益	29,935	—
固定資産売却益	889	120
特別利益合計	30,824	120
特別損失		
固定資産売却損	1,300	—
固定資産除却損	10,124	333
特別損失合計	11,424	333
税金等調整前四半期純利益	844,613	1,051,072
法人税、住民税及び事業税	224,597	324,192
法人税等調整額	42,391	8,966
法人税等合計	266,988	333,158
四半期純利益	577,625	717,913
親会社株主に帰属する四半期純利益	577,625	717,913

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	577,625	717,913
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37,992	△63,086
退職給付に係る調整額	5,632	△573
その他の包括利益合計	43,625	△63,660
四半期包括利益	621,250	654,253
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	621,250	654,253
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ダイレクト メール部門	セールス プロモー ション部門	イベント 部門	賃貸部門	計		
売上高							
外部顧客への売上高	16,947,797	811,224	371,483	58,693	18,189,199	9,236	18,198,435
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	90	90	373	463
計	16,947,797	811,224	371,483	58,783	18,189,289	9,610	18,198,899
セグメント利益又は損 失(△)	1,085,328	134,513	△11,025	30,930	1,239,746	2,247	1,241,994

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、家電製品販売を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,239,746
「その他」の区分の利益	2,247
セグメント間取引消去	△463
全社費用(注)	△423,243
四半期連結損益計算書の営業利益	818,287

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成30年4月1日 至平成30年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ダイレクト メール部門	セールス プロモ ーション部門	イベン ト 部門	賃貸部門	計		
売上高							
外部顧客への売上高	19,303,502	636,145	534,132	60,427	20,534,208	3,307	20,537,515
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	90	90	406	496
計	19,303,502	636,145	534,132	60,517	20,534,298	3,713	20,538,012
セグメント利益	1,385,473	99,577	13,027	29,294	1,527,373	3,264	1,530,638

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、家電製品販売を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,527,373
「その他」の区分の利益	3,264
セグメント間取引消去	△496
全社費用（注）	△497,694
四半期連結損益計算書の営業利益	1,032,447

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。